

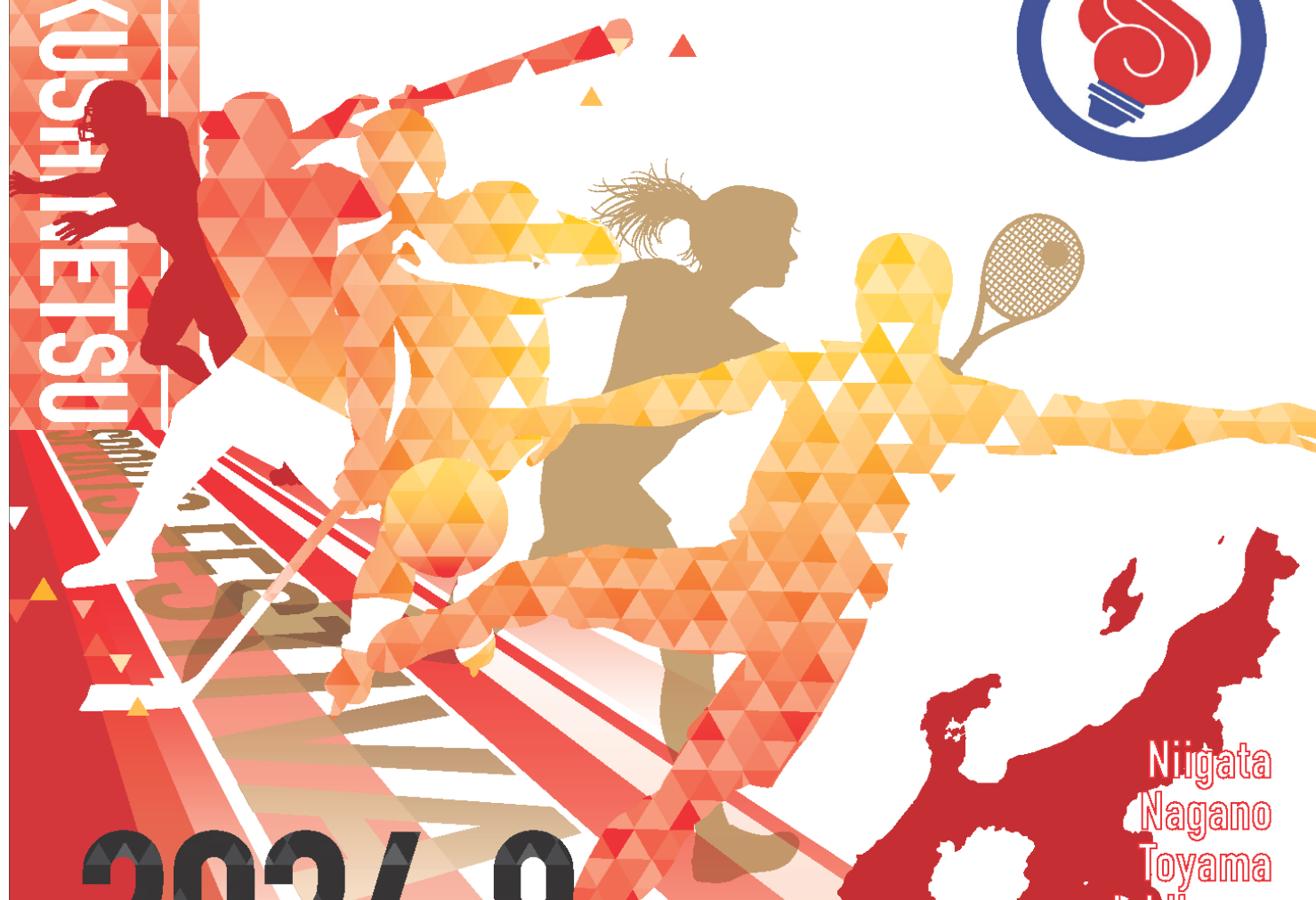
第45回

北信越国民スポーツ大会

カヌー (SP) 競技プログラム



HOKUSHU
NETSU



2024.8
23^{FRI} » 25^{SUN}

主催 | (公財)日本スポーツ協会 石川県 富山県 長野県 福井県 新潟県
石川県教育委員会 富山県教育委員会 長野県教育委員会
福井県教育委員会 新潟県教育委員会
(公財)石川県スポーツ協会 (公財)富山県スポーツ協会
(公財)長野県スポーツ協会 (公財)福井県スポーツ協会
(公財)新潟県スポーツ協会

共催 | 会場地市町村 会場地市町村教育委員会

後援 | スポーツ庁 主管 | (公財)石川県スポーツ協会 石川県各競技団体

この事業は、競輪の補助金を受けて実施しています。

競輪の補助事業



開催の趣旨

国民スポーツ大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若い力	・・・・・・1	式典次第・諸会議日程・大会日程	・・・・・・8
石川県民歌	・・・・・・1	競技日程	・・・・・・9
大会長あいさつ	・・・・・・2	競技組み合わせ	・・・・・・10
石川県議会議長祝辞	・・・・・・3	競技成績表	・・・・・・12
石川県カヌー協会長あいさつ	・・・・・・4	監督・選手名簿	・・・・・・16
福井市長歓迎のことば	・・・・・・5	カヌー競技の見方	・・・・・・19
競技会役員	・・・・・・6	会場案内図	・・・・・・21
競技役員	・・・・・・7	宿舍・大会本部等	・・・・・・22

若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕のよろこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

石川県民の歌

梅木

窪田 新一

作詞

作曲

一、白山に 朝日ははえて

青雲の はれゆくところ

名にかおる 歴史をつぎて

むすばれし われら県民

躍進の 旗をかざして

おおわが石川 ふるいおこさん

二、加賀平野 能登半島に

海山の さち呼ぶところ

うちつどう ちまたに野辺に

工芸の 花咲きにおい

はるかなる 稲田はみのもる

おおわが石川 ひらきのばさん

三、日本海 北にひらけて

希望の日 明けゆくところ

いでゆわき 地はゆたかなり

この国土 いよよ榮えて

人の和に 世界を結ぶ

おおわが石川 歌いたたえん

あいさつ



第45回北信越国民スポーツ大会 会長
公益財団法人石川県スポーツ協会 会長

石川県知事 馳 浩

第45回北信越国民スポーツ大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、ご来県いただきました皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、今年佐賀県で開催される第78回国民スポーツ大会「SAGA2024 国スポ」への出場権獲得を目指し、各県を代表する精鋭が、郷土の名誉と誇りを胸に、熱戦を繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

参加される選手の皆様には、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮され、観戦される方々を魅了する白熱した戦いを展開されるとともに、大会を通じて交流の輪を広げられ、思い出に残る素晴らしい大会となることを願っています。

元日に発生した令和6年能登半島地震により、今なお、多くの方々が不自由な生活を余儀なくされていますが、県としては、ふるさと石川の一日も早い復旧、その先の創造的復興に向け、全力で取り組んでまいります。

本大会で生まれる活気や賑わいも、必ずや能登の復旧・復興の大きな力になるものと確信しており、能登が再び輝きを取り戻す日まで、今後とも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、県外からお越しいただいた皆様には、折角の機会ですので、四季折々の山海の幸を活かした豊かな食文化など、ここ石川県の多彩な魅力をご堪能いただければ幸いです。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係の皆様方に深く御礼を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念申し上げ、あいさつといたします。

お祝いの言葉



石川県議会議長 善田 善彦

北信越5県から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第45回北信越国民スポーツ大会が盛大に開催されるにあたり、石川県議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本大会は、佐賀県で開催される国民スポーツ大会への予選会であるとともに、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与する大会であります。

日々の厳しい練習とたゆまぬ努力により、各県の予選を勝ち抜かれた選手の皆様には、これまで鍛えた力と技を十分に発揮され、輝かしい成績を収められますとともに、選手相互の友情を深め、心に残る素晴らしい大会となることを願っております。

また、日頃から選手の育成やスポーツ振興にご尽力いただいております監督、役員をはじめ関係者の皆様のこれまでのご努力とご熱意に対し、深く敬意を表します。引き続き、スポーツを通じた地域の活性化にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

元日に発生した令和6年能登半島地震では、本県のみならず北信越5県の各地で甚大な被害が生じました。被災された方にお見舞いを申し上げますとともに、選手の皆さんの活躍が被災地に夢と感動を与えてくれるものと期待しております。

本県は、新鮮な山海の幸、さらには美味しいお酒など、豊かな資源に恵まれております。地震の影響で売り上げが大幅に減少している飲食店などを応援するためにも、こうした石川県の醍醐味もあわせて存分に御堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の運営にあたられます役員の皆様をはじめ、関係各位のご労苦に深く敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

あいさつ



石川県カヌー協会
会長 佐々木 紀

第45回北信越国民スポーツ大会、カヌー競技が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、各県を代表し本大会への出場権をかけて参加されました選手、スタッフの皆様を心より歓迎申し上げます。

コロナ禍を乗り越えて、ようやく日常の生活が戻り、様々なスポーツ活動も社会の活力を復活させる夢あふれる活動としてよみがえってきました。しかし、石川県、能登半島では元日の大地震に見舞われ、多くの人命が失われ、今なお避難生活を余儀なくされている方々があります。あらためて被災されました方々にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興を願うばかりです。それでも、スポーツの持つ力はそんな被災地にも夢と勇気を与え、復興の力の一助になることは間違いないと確信している次第です。選手の皆さんには力強いパドリングと高い技術力を発揮されますことを期待しています。

カヌー競技は、小松市の木場潟カヌー競技場をメインとして、スラローム競技は福井市の足羽川を会場に実施されます。木場潟カヌー競技場は、日本のカヌー競技の聖地として、コース整備はもちろんのこと、多目的展望台、ナショナルトレーニングセンター等を設置するなど、競技力の向上と発展、底辺拡大に努めてきました。周辺は木場潟公園として県民の憩いの場としても多くの方々が散策し、加えて、北陸新幹線敦賀開業を迎えて、車窓からの木場潟と白山のコントラストが見ごたえのあるスポットともなっています。

参加の選手、スタッフの皆さんには、北信越の頂点を目指して、日頃の練習の成果を存分に発揮され全力で競技されますことをご期待申し上げますとともに、競技の合間には、木場潟公園のひと時の安らぎや、白山の山並み、新幹線の疾走する姿に英気を養っていただければと思っております。

おわりに、大会開催に向けて準備されました関係各位とご支援ご理解、ご協力を賜りました皆様に感謝と敬意を申し上げ、歓迎のことばとします。

歓迎のことば



小松市長 宮橋 勝栄

第45回北信越国民スポーツ大会が、北信越各地から多くの選手、監督、役員の皆様をお迎えし、ここ小松市において、盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

水と緑の豊かな小松市では、加賀前田家三代利常公によってもたらされた茶道、華道、子供歌舞伎などの伝統文化が脈々と受け継がれ、日本遺産に認定された「石の文化」「北前船」、九谷焼などの伝統産業、建設機械を中心とする近代産業にも恵まれております。また、小松空港、JR、高速道路などの高速交通ネットワークに加え、今年春には北陸新幹線が敦賀延伸により小松開業を迎え、100年に一度のチャンスを活かすべく、まちづくりに取り組んでおります。

本大会は昨年までの北信越国民体育大会から北信越国民スポーツ大会へと名称が変更された初めての大会となります。参加される選手の皆様におかれましては、佐賀県で開催される「国民スポーツ大会」の出場権獲得を目指し、日頃鍛えた力と技を存分に発揮していただくとともに、スポーツを楽しみ、北信越各地から参加されている選手の皆様と交流を図っていただければ幸いに存じます。

最後になりますが、大会の開催にご尽力いただきました関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍を重ねてお祈り申し上げます。歓迎のことばといたします。

競 技 会 役 員

名誉会長 宮橋 勝栄

会 長 佐々木 紀

副会長 野上 浩太郎 熊谷 元尋 重森 俊道 塚田 一郎

名誉顧問 森 喜朗

顧 問 串田 和久 野本 正人 古谷 利彦

参 与 横山 昭博 本村 与茂

委員長 釜田 涉

副委員長 橋本 充 武江 一 國京 健二 近藤 雅晴

委 員 桶谷 則之 坂本 和彦 本村 与茂 北総 一朗

面 敏裕 七尾英太朗 松下 秀一 田嶋 正之

村井 吉雄 上出 雅 池田 忠義 齋藤 典子

高木 信寿 武江 一 野口 雄慶 近藤 雅晴

久 司 満

競 技 役 員

競技会会長	佐々木 紀				
競技会副会長	野上 浩太郎	熊谷 元尋	重森 俊道	塚田 一郎	
競技委員長	釜田 渉				
競技副委員長	武江 一	橋本 充	國京 健二	近藤 雅晴	
総務委員長	久司 満				
総務係	桶谷 則之	本村 与茂	西田 雅子		
審判長	四登 久嗣				
決勝審判員	柳本 正澄	七尾 英太郎	吉本 直子	山本 岳人	
水路審判員	長谷川 春奈	長谷川 智久	大西 徳治	宮前 達流	
発艇係	水野 浩	野田 貴義	大道 義宏	米田 将史	
検艇員	柴田 颯大	角谷 清進	藤田 康雄	石原 亨	
	辻 義昭	神前 康夫			
配艇員	面 敏裕	高瀬 寿彦	笹生 裕子		
記録員	中田 豊司	村中 進	寺井 和希		
救護員	渡邊 あゆみ				
補助員	石川県高体連カヌー専門部				

式典次第

【開始式】

日時：令和6年7月13日（土）
午後16時00分より
場所：小松市木場潟カヌー競技場
大会本部前

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 競技会開始宣言
4. 国 歌 斉 唱
5. 若 い 力 斉 唱
6. 競技会会長あいさつ
7. 歓 迎 の こ と ば
8. 競 技 上 の 注 意
9. 選 手 宣 誓
10. 閉 式 通 告
11. 役員・選手団解散

【表彰式】

日時：令和6年7月14日（日）
午後12時00分より
場所：小松市木場潟カヌー競技場
大会本部前

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 成 績 発 表
4. 表 彰
5. 競技会会長あいさつ
6. 競技会終了宣言
7. 閉 式 通 告
8. 役員・選手団解散

諸 会 議 日 程

会議名	期 日	時 間	場 所	電話番号
監督会議	令和6年7月13日（土）	午後1時00分	木場潟カヌー競技場 大会本部	090-7081-0777 (久司携帯)

大 会 日 程

○令和6年 7 月 1 3 日（土）

- ・ 9:00～15:30 公式練習
- ・ 13:00～15:00 受付・検艇
- ・ 13:00～ 監督会議
- ・ 16:00～ 開 会 式

○令和6年 7 月 1 4 日（日）

- ・ 7:30～8:30 公式練習
- ・ 8:00～ 役員集合
- ・ 9:00～ 競技開始
- ・ 12:00～ 表彰式・閉会式

競 技 日 程

－ 7月14日（日） －

<カヌースプリント 成年男女・少年男女>

○ 9:00 ～ 競技開始

レース 番 号	時 間	種 別	種 目	区 分	備 考
1	9:00	成年女子	カナディアン シングル	決 勝	
2	9:10	少年男子	カナディアン シングル		
3	9:20	少年女子	カヤック シングル		
4	9:30	成年男子	カナディアン シングル		
5	9:40	少年男子	カヤック ペア		
6	9:50	少年男子	カナディアン ペア		
7	10:00	少年女子	カヤック ペア		
8	10:10	少年男子	カヤック シングル		
9	10:20	少年男子	カヤック フォア		
10	10:30	成年女子	カヤック シングル		
11	10:40	成年男子	カヤック シングル		

○12:00 ～ 表彰式 ・ 閉会式 大会本部前

競 技 組 合 せ 表

レース番号 1 成年女子カナディアン シングル 【決 勝】

- 1 久 保 実 乃 (福井県)
- 2 沖 野 星 (新潟県)

レース番号 2 少年男子カナディアン シングル 【決 勝】

- 1 三 水 快 誠 (長野県)
- 2 高 濱 大 和 (新潟県)
- 3 四 方 嵩 人 (福井県)
- 4 原 田 悠 真 (富山県)

レース番号 3 少年女子カヤック シングル 【決 勝】

- 1 若 瀬 茉 彩 (富山県)
- 2 湊 麻 琴 (石川県)
- 3 篠 崎 友 歌 (福井県)

レース番号 4 成年男子カナディアン シングル 【決 勝】

- 1 當 銘 孝 仁 (新潟県)
- 2 堀 川 裕 輝 (福井県)
- 3 砂 場 寛 太 (富山県)
- 4 塚 本 大 貴 (長野県)

レース番号 5 少年男子カヤック ペア 【決 勝】

- 1 藤 縄 輔 玖・酒 井 海 倫 (富山県)
- 2 山 下 矩 且・尾 崎 巴 琉 (石川県)
- 3 佐 々 木 煌 牙・長 谷 川 空 飛 (福井県)
- 4 一 剛 資・加 藤 康 太 郎 (新潟県)

レース番号 6 少年男子カナディアン ペア 【決 勝】

- 1 山 岸 邦 汰・美 谷 淳 平 (石川県)
- 2 加 藤 慧 大・佐 野 巧 真 (新潟県)
- 3 牧 田 知 樹・高 木 桜 雅 (富山県)
- 4 村 田 流 潮・田 中 智 大 (福井県)

レース番号 7 少年女子カヤック ペア 【決 勝】

1	吉	田	し	ず	く	・	大	辻	彩	夏	(福井県)
2	黒	島	瑞	空	・	飯	田	綺	良	(新潟県)	
3	酒	井	星	璃	・	一	橋	明	里	(富山県)	
4	辻		紗	羽	・	川	端	千	斐	(石川県)	

レース番号 8 少年男子カヤック シングル 【決 勝】

1	吉	村	和	虎	(福井県)
2	水	池	幸	志	(富山県)
3	中	島	直	人	(新潟県)
4	上	垣	亮	太	(長野県)
5	有	山		怜	(石川県)

レース番号 9 少年男子カヤック フォア 【決 勝】

1	上	田	竜	馬	・	萩	中	壱	星	(富山県)	
	吉	房	真	之	介	・	上	田	雷	貴	
2	山	口	修	志	郎	・	森	田	遼	太	(石川県)
	葛	野	倅	太	・	草	刈	煌	成		
3	辻		梓	臣	・	舟	塚	怜	音	(福井県)	
	小	林	大	聖	・	越	智	海	成		
4	瀧	澤	慧	音	・	高	橋	竜	輝	(新潟県)	
	稻	田	太	陽	・	阿	尻	光	希		

レース番号 10 成年女子カヤック シングル 【決 勝】

1	細	見	茉	弥	(長野県)	
2	山	下	友	理	子	(福井県)
3	中	川	紗	耶	香	(石川県)
4	浦	田	樹	里	(富山県)	

レース番号 11 成年男子カヤック シングル 【決 勝】

1	下	川	拓	樹	(新潟県)	
2	久	保	領	雄	音	(石川県)
3	菅	原	真	之	助	(福井県)
4	菱	田	步	睦	(富山県)	
5	酒	井	悠	弦	(長野県)	

競 技 成 績

レース番号 1 9:00 成年女子カナディアン シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井県	25	久保実乃	' "		
2	新潟県	41	沖野星	' "		

レース番号 2 9:10 少年男子カナディアン シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	長野県	21	三木快誠	' "		
2	新潟県	49	高濱大和	' "		
3	福井県	33	四方嵩人	' "		
4	富山県	11	原田悠真	' "		

レース番号 3 9:20 少年女子カヤック シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	富山県	14	若瀬茉彩	' "		
2	石川県	65	湊麻琴	' "		
3	福井県	36	篠崎友歌	' "		

レース番号 4 9:30 成年男子カナディアン シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	新潟県	40	當銘孝仁	' "		
2	福井県	23	堀川裕輝	' "		
3	富山県	2	砂場寛太	' "		
4	長野県	18	塚本大貴	' "		

レース番号 5 9:40 少年男子カヤック ペア 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	富山県	5	藤 縄 輔 玖	、 “		
		6	酒 井 海 倫			
2	石川県	57	山 下 矩 且	、 “		
		58	尾 崎 巴 琉			
3	福井県	27	佐 々 木 煌 牙	、 “		
		28	長 谷 川 空 飛			
4	新潟県	43	一 剛 資	、 “		
		44	加 藤 康 太 郎			

レース番号 6 9:50 少年男子カナディアン ペア 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	石川県	63	山 岸 邦 汰	、 “		
		64	美 谷 淳 平			
2	新潟県	50	加 藤 慧 大	、 “		
		51	佐 野 巧 真			
3	富山県	12	牧 田 知 樹	、 “		
		13	高 木 桜 雅			
4	福井県	34	村 田 流 潮	、 “		
		35	田 中 智 大			

レース番号 7 10:00 少年女子カヤック ペア 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井県	37	吉 田 し ず く	、 “		
		38	大 辻 彩 夏			
2	新潟県	52	黒 島 瑞 空	、 “		
		53	飯 田 綺 良			
3	富山県	15	酒 井 星 璃	、 “		
		16	一 橋 明 里			
4	石川県	66	辻 紗 羽	、 “		
		67	川 端 千 斐			

レース番号 8 10:10 少年男子カヤック シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井県	26	吉村和虎	' "		
2	富山県	4	水池幸志	' "		
3	新潟県	42	中島直人	' "		
4	長野県	20	上垣亮太	' "		
5	石川県	56	有山 怜	' "		

レース番号 9 10:20 少年男子カヤック フォア 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	富山県	7	上田竜馬	' "		
		8	萩中壱星			
		9	吉房真之介			
		10	上田雷貴			
2	石川県	59	山口修志郎	' "		
		60	森田遼太郎			
		61	葛野倅太			
		62	草刈煌成			
3	福井県	29	辻 梓臣	' "		
		30	舟塚怜音			
		31	小林大聖			
		32	越智海成			
4	新潟県	45	瀧澤慧音	' "		
		46	高橋竜輝			
		47	稲田太陽			
		48	阿尻光希			

レース番号 10 10:30 成年女子カヤック シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	長野県	19	細見茉弥	' "		
2	福井県	24	山下友理子	' "		
3	石川県	55	中川紗耶香	' "		
4	富山県	3	浦田樹里	' "		

レース番号 11 10:40 成年男子カヤック シングル 決勝

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	新潟県	39	下川拓樹	' "		
2	石川県	54	久保領雄音	' "		
3	福井県	22	菅原真之助	' "		
4	富山県	1	菱田歩睦	' "		
5	長野県	17	酒井悠弦	' "		

監督・選手名簿

県名	監督氏名 (所属)	種別	ゼッケン	種目	選手氏名	所属
富山県	松崎 陽祐 (富山県立 富山北部高等学校)	成年男子	1	K-1	菱田 歩 睦	関西学院大学
			2	C-1	砂場 寛 太	立命館大学
		成年女子	3	K-1	浦田 樹 里	早稲田大学
		少年男子	4	K-1	水池 幸 志	富山県立富山北部高等学校
			5	K-2	藤 縄 輔 玖	富山県立富山北部高等学校
			6	K-2	酒井 海 倫	富山県立富山北部高等学校
			7	K-4	上田 竜 馬	富山県立富山北部高等学校
			8	K-4	萩 中 壱 星	富山県立富山東高等学校
			9	K-4	吉房 真之介	上市町立上市中学校
			10	K-4	上田 雷 貴	上市町立上市中学校
			11	C-1	原田 悠 真	上市町立上市中学校
			12	C-2	牧田 知 樹	富山県立富山北部高等学校
			13	C-2	高木 桜 雅	富山県立富山北部高等学校
			少年女子	14	K-1	若瀬 茉 彩
		15		K-2	酒井 星 璃	上市町立上市中学校
		16		K-2	一橋 明 里	上市町立上市中学校
長野県	武江 一 (長野県立 池田工業高等学校)	成年男子	17	K-1	酒井 悠 弦	長野県競技力向上対策本部
			18	C-1	塚本 大 貴	須坂市役所
		成年女子	19	K-1	細見 茉 弥	長野県競技力向上対策本部
		少年男子	20	K-1	上垣 亮 太	長野県篠ノ井高等学校犀峽校
			21	C-1	三水 快 誠	長野県篠ノ井高等学校犀峽校
福井県	濱野 早紀 (福井県立 金津高等学校)	成年男子	22	K-1	菅原 真之助	同志社大学
			23	C-1	堀川 裕 輝	福井工業大学
		成年女子	24	K-1	山下 友理子	福井県カヌー協会
			25	C-1	久保 美 乃	(株) 松川レピヤン
		少年男子	26	K-1	吉村 和 虎	あわら市芦原中学校
			27	K-2	佐々木 煌 牙	福井県立金津高等学校
			28	K-2	長谷川 空 飛	福井県立金津高等学校
			29	K-4	辻 梓 臣	福井県立金津高等学校
			30	K-4	舟塚 怜 音	福井県立金津高等学校

			31	K-4	小林大聖	福井県立金津高等学校
			32	K-4	越智海成	福井県立金津高等学校
			33	C-1	四方嵩人	福井県立金津高等学校
			34	C-2	村田流潮	福井県立金津高等学校
			35	C-2	田中智大	福井県立金津高等学校
少年女子			36	K-1	篠崎友歌	福井県立金津高等学校
			37	K-2	吉田しずく	福井県立金津高等学校
			38	K-2	大辻彩夏	福井県立金津高等学校
新潟県	澁谷 毅 (新潟市立 万代高等学校)	成年男子	39	K-1	下川拓樹	(公財)新潟県スポーツ協会
			40	C-1	當銘孝仁	アーネスト(株)
		成年女子	41	C-1	沖野 星	東京女子体育大学
		少年男子	42	K-1	中島直人	新潟県立分水高等学校
			43	K-2	一 剛 資	新潟市立万代高等学校
			44	K-2	加藤康太郎	新潟市立万代高等学校
			45	K-4	瀧澤慧音	新潟県立分水高等学校
			46	K-4	高橋竜輝	新潟県立分水高等学校
			47	K-4	稲田太陽	新潟県立分水高等学校
			48	K-4	阿尻光希	新潟市立万代高等学校
			49	C-1	高濱大和	新潟県立分水高等学校
			50	C-2	加藤慧大	新潟市立万代高等学校
		51	C-2	佐野巧真	新潟市立万代高等学校	
		少年女子	52	K-2	黒鳥瑞空	新潟市立万代高等学校
			53	K-2	飯田綺良	新潟市立万代高等学校
石川県	山作直弘 (石川県立 小松商業高等学校)	成年男子	54	K-1	久保領雄音	(株)セールスフォース
		成年女子	55	K-1	中川紗耶香	山崎金属産業株式会社
		少年男子	56	K-1	有山 怜	石川工業高等専門学校
			57	K-2	山下矩且	小松市立高等学校
			58	K-2	尾崎巴琉	石川県立小松高等学校
			59	K-4	山口修志郎	小松市立高等学校
			60	K-4	森田遼太郎	石川県立小松商業高等学校
			61	K-4	葛野倅太	石川県立小松商業高等学校
			62	K-4	草刈煌成	小松市立御幸中学校

			63	C-2	山 岸 邦 汰	石川県立小松商業高等学校
			64	C-2	美 谷 淳 平	石川県立小松商業高等学校
		少年女子	65	K-1	湊 麻 琴	石川県立小松商業高等学校
			66	K-2	辻 紗 羽	小松市立南部中学校
			67	K-2	川 端 千 斐	小松市立南部中学校

カヌー競技の見方

カヌー競技の現状

昭和 39 年（1964 年）東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古くいろいろなスポーツよりも人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924 年パリオリンピックで公開競技、1936 年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界でも最も普及したスポーツとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め愛好家も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。我が国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各都道府県にカヌー協会が設置されており、国民体育大会には、昭和 57 年第 37 回国民体育大会（島根県）より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック（K）とカナディアン（C）の 2 種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル（櫂・かい）の両端にあるブレード（水かき）で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立ひざもしくは片ひざの姿勢を保ち、片側にブレードのついたパドルを操作し進みます。スプリント艇（カヤックのみ）のみ、足で舵（かじ）を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルを操作し、方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー（オールを固定する場所）が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。また、ボートは後ろ向きに漕ぎ推進させますが、カヌーはすべて前向きに漕ぎ推進させます。

カヌー競技の種目と種別

国民スポーツ大会の競技には、静水面で行う「カヌースプリント競技」と河川の急流で行う「カヌースラローム競技」「ワイルドウォーター競技」の 3 種目があります。

各種目とも、選手は（A）・（B）に参加できることになっています。

- カヌースプリント (A) 500m (B) 200m
- カヌースラローム (A) 15 ゲート (B) 25 ゲート
- カヌーワイルドウォーター (A) 1500m (B) スプリント

カヌースプリント

流れのない河川・湖沼・港湾等を利用し、一定の距離とレーン（水路）を決めて着順を競います。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成 21 年 4 月 1 日から「フラットウォーターレーシング（FWR）」から「カヌースプリント（SP）」となりました。

当初は、国体におけるレースは距離が 500m のみで行われていましたが、第 43 回大会から 300m 競技が加わり、それぞれの選手がこの 2 つの距離に参加できるようになりました。第 49 回大会から、300m が 200m に変更されました。コースは、公認された幅 9m × 9レーンで、障害のない直線となっています。

国スポでの競技種目は、成年男子が K - 1（一人乗り）、C - 1（一人乗り）の 2 種目、成年女子は K - 1、C - 1 の 2 種目、少年女子が K - 1、K - 2（二人乗り）、C - 2（二人乗り）の 4 種目、少年女子が K - 1、K - 2、K - 4（4人乗り）の 3 種目、合計 11 種目となっています。

ただし、K - 4 は少年男子と少年女子が隔年（偶数年は男子、奇数年は女子）で行われており、成年女子の C - 1 は第 72 回愛媛国体から追加されました。

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「スラロームレーシング（SLR）」から「カヌースラローム（SL）」となりました。

ダウンストリームゲート（こぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（こぎ上がり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないよう通過し、その速さを競います。国体では25ゲートと15ゲートで競技が行われ、コースの距離は150～400m内でゲートが設定されています。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は2回漕航し、そのうち良い方の成績で順位付けがされます。

これまではK（カヤック）種目だけが実施されていましたが、平成29年愛媛国体からC（カナディアン）種目が追加されました。

◎ ゲート通過時のペナルティ

正しく通過	0点
1本又は2本のゲートに触れる（何回触れても）	2点
不通過	50点

◎ 成績の計算例

スタートからゴールまでのタイム（3分30秒として）

$$3分30秒 = 210点 \quad (1秒を1点)$$

ペナルティ（罰点）・・・ポールに接触1カ所、不通過1カ所として

$$2点 + 50点 = 52点$$

成績（タイムとペナルティの合計）

$$210 + 52 = \underline{262点}$$

カヌーワイルドウォーター

岩などの障害をかかわしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所要タイムで決定されます。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「ワイルドウォーターレーシング（WWR）」から「カヌーワイルドウォーター（WW）」となりました。

競技は、1500mとスプリント（スラロームのコースを使用。コース長は300m～600m）の2つの距離で行われ、デモンストラクション、ノンストップトレーニング（練習、1500mのみ）に続いて、1500mでは1回、スプリントでは2回（成績は2回のうち良い方で順位付けがされる）の試技が行われます。

競技会場位置図



宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電 話
長野県	ホテルルートイングランティア 小松エアポート	小松市長崎町 4-116-1	0761-23-7000
富山県			
新潟県			
福井県	アパホテル小松	小松市飴屋町 53	0570-007-911

会 場 最 寄 医 療 機 関

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ 60 番地

TEL 0761-22-7111

「小松市民病院」

競 技 会 本 部

石川県小松市「木場潟カヌー競技場」

石川県カヌー協会 久司 満

TEL 090-7081-0777

競 技 会 場 連 絡 担 当 者

木場潟カヌー競技場本部

石川県カヌー協会 久司 満

携帯 090-7081-0777

大 会 本 部

公益財団法人石川県スポーツ協会内
第45回北信越国民体育大会実行委員会事務局

TEL 076-268-3100

FAX 076-268-3188